



2026年7月22日の電力需給

全国

△ 全国合計需要ピーク
14,867万kW
14時、148,668 MW（9エリア暫定同時刻合計）

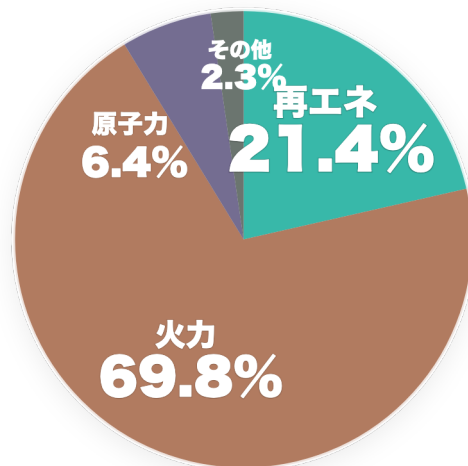
≈ 風力ピーク
147万kW
14時、1,474 MW

↔ 最大受電エリア
東京
116 GWh

☀ 太陽光ピーク
4,292万kW
11時30分、42,919 MW（自家消費分除く）

◇ 再エネ最大需要比
37.9%
12時、需要に対する割合

↔ 最大送電エリア
東北
100 GWh



概況

再エネ比率トップ

北海道 34.8%
29.7 GWh

揚水・蓄電の充電

76.6 GWh
発電構成比には含めない

出力抑制量

0.0 GWh
最大: 北海道 0.0 GWh

日中の特徴

太陽光と夕方需要の時間差
多くのエリアで18-19時台に需要ピーク



- 一部エリアで需給バランス検査に失敗したため、該当エリアは集計・チャートから除外しています。
- 需要ピークが最も大きかったのは東京で、14:30に5,646万kWでした。
- 再エネ比率は北海道が最も高く、発電電力量ベースで34.8%でした。
- 出力抑制は確認されませんでした。

項目	値	補足
再エネ発電量比率	21.4%	発電電力量ベース
再エネ発電量	617 GWh	太陽光・水力・風力・バイオマス・地熱
総発電電力量	2,878 GWh	発電構成比の分母
再エネ最大需要比	37.9%	12時
出力抑制量	0.0 GWh	最大: 北海道
揚水・蓄電の充電	76.6 GWh	発電構成比には含めない

エリア	再エネ比率	再エネ発電量 (GWh)	出力抑制 (GWh)	連系線・その他 (GWh)
北海道	34.8%	29.7	0.0	送電 5.3
東北	29.7%	107	0.0	送電 100
東京	16.3%	162	0.0	受電 116
中部	24.4%	116	0.0	受電 26.2
北陸	30.2%	29.9	0.0	送電 6.5
関西	17.2%	82.0	0.0	受電 76.1
中国	26.1%	56.8	0.0	送電 6.6
四国	22.3%	31.0	0.0	送電 45.1
沖縄	9.3%	2.9	0.0	—



2026年7月22日の供給実績

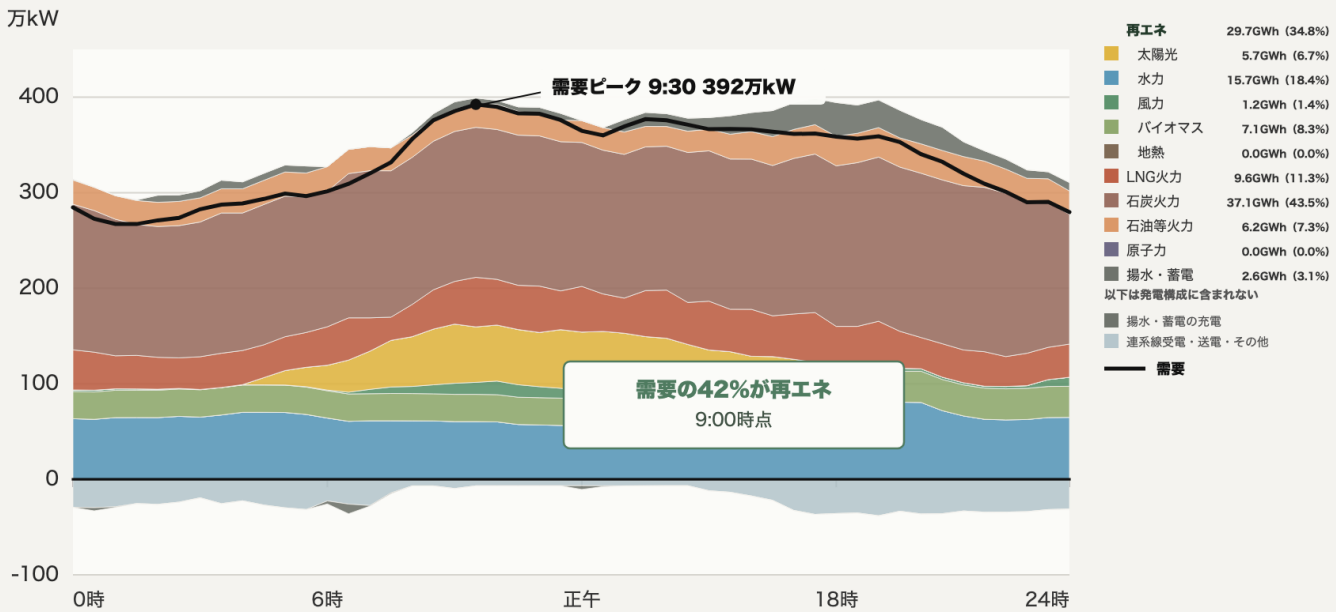
北海道エリア

再エネ

29.7GWh

(発電電力量ベース34.8%)

北海道エリア 2026年7月22日の供給実績（残余需要方式）



出典: 北海道電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ (2026年7月CSV)

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

85.3GWh

需要ピーク

9:30、392万kW

連系線・その他

5.3GWhの送電

揚水・蓄電の充電

0.1GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

北海道は、太陽光ピーク62万kW、風力ピーク14万kWで、時間別の再エネ最大需要比は43.8%だった。



2026年7月22日の供給実績

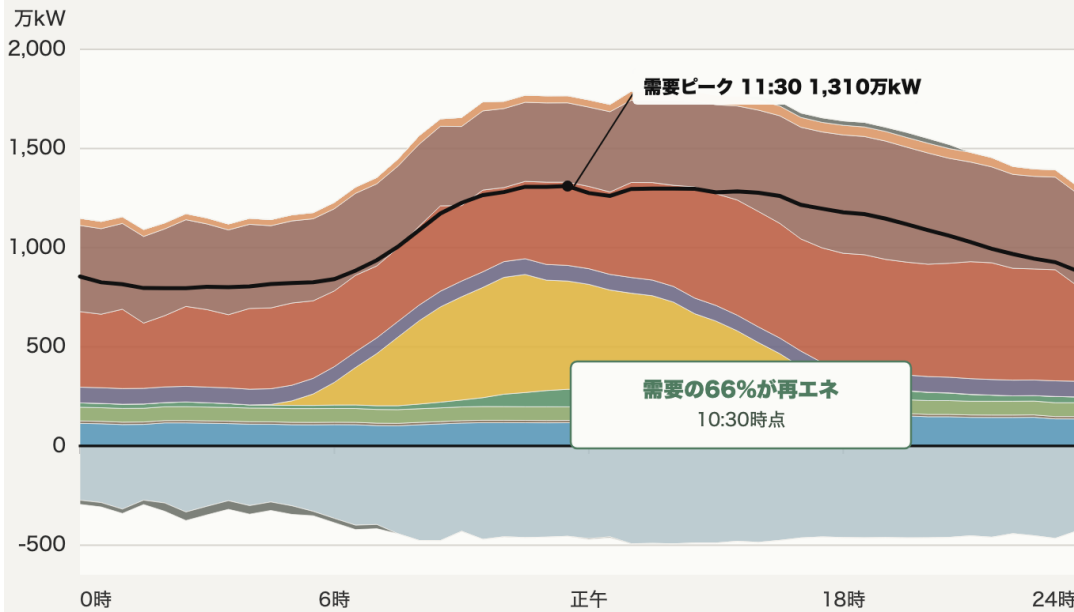
東北エリア

再エネ

106.6GWh

(発電電力量ベース29.7%)

東北エリア 2026年7月22日の供給実績（残余需要方式）



発電構成比

総発電電力量: 358GWh
(3,584万kWh)

再エネ	106.6GWh (29.7%)
太陽光	45.3GWh (12.6%)
水力	30.0GWh (8.4%)
風力	11.8GWh (3.3%)
バイオマス	16.6GWh (4.6%)
地熱	2.8GWh (0.8%)
LNG火力	112.3GWh (31.3%)
石炭火力	109.7GWh (30.6%)
石油等火力	9.6GWh (2.7%)
原子力	19.0GWh (5.3%)
揚水・蓄電	1.1GWh (0.3%)
以下は発電構成に含まれない	
揚水・蓄電の充電	
連系線受電・送電・その他	

出典: 東北電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ（2026年7月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

358.4GWh

需要ピーク

11:30、1,310万kW

連系線・その他

100.5GWhの送電

揚水・蓄電の充電

2.4GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

東北は、太陽光ピーク595万kW、風力ピーク120万kWで、時間別の再エネ最大需要比は66.4%だった。



2026年7月22日の供給実績

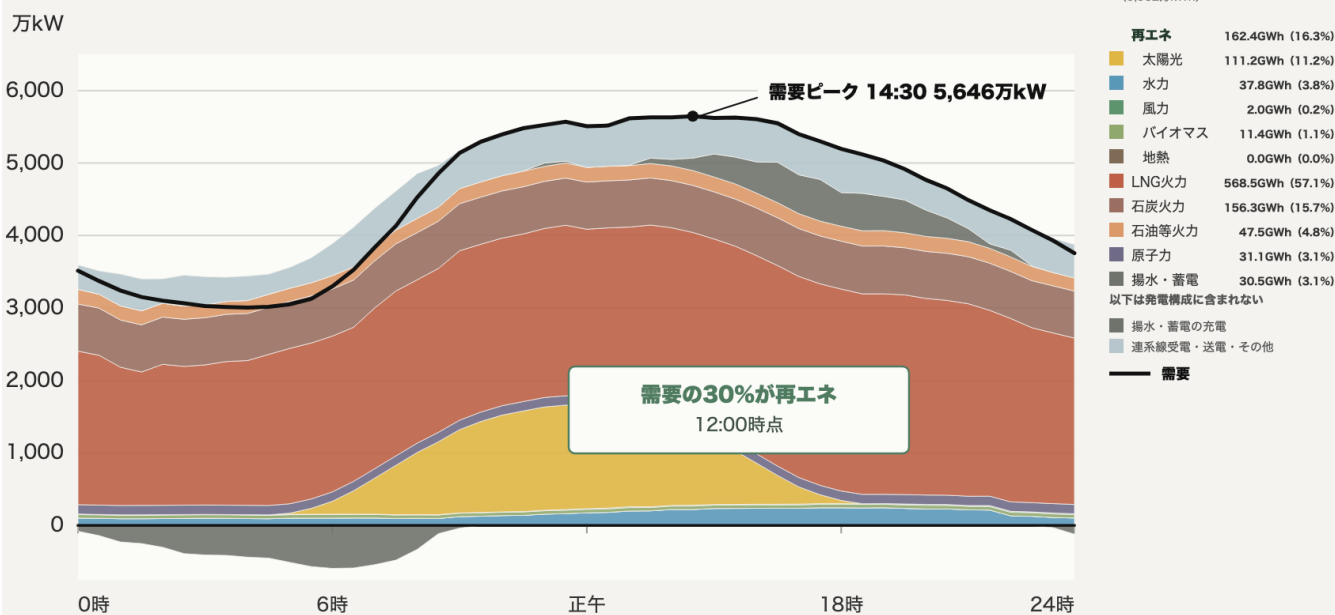
東京エリア

再エネ

162.4GWh

(発電電力量ベース16.3%)

東京エリア 2026年7月22日の供給実績（残余需要方式）



出典: 東京電力パワーグリッド公表のエリア需給実績データ (2026年7月CSV)

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

996.2GWh

需要ピーク

14:30、5,646万kW

連系線・その他

115.9GWhの受電

揚水・蓄電の充電

35.0GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

東京は、太陽光ピーク1,441万kW、風力ピーク15万kWで、時間別の再エネ最大需要比は30.2%だった。



2026年7月22日の供給実績

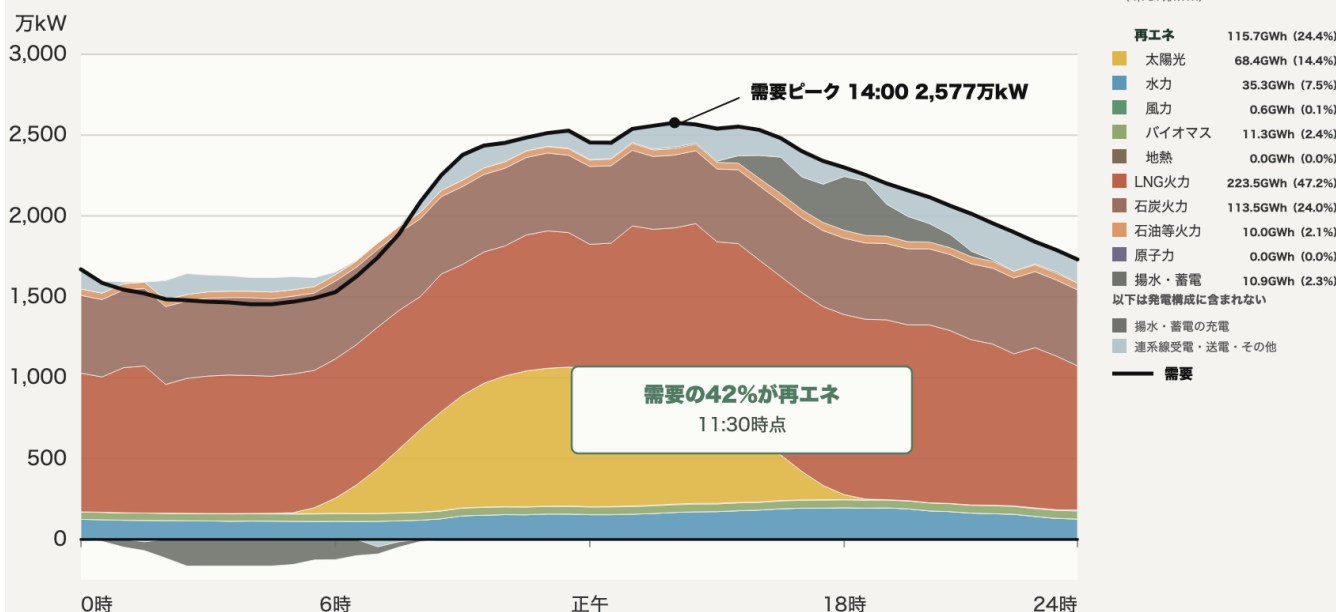
中部エリア

再エネ

115.7GWh

(発電電力量ベース24.4%)

中部エリア 2026年7月22日の供給実績（残余需要方式）



出典: 中部電力パワーグリッド公表のエリア需給実績データ (2026年7月CSV)

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

473.7GWh

需要ピーク

14:00、2,577万kW

連系線・その他

26.6GWhの受電

揚水・蓄電の充電

8.2GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

中部は、太陽光ピーク859万kW、風力ピーク6万kWで、時間別の再エネ最大需要比は43.1%だった。



2026年7月22日の供給実績

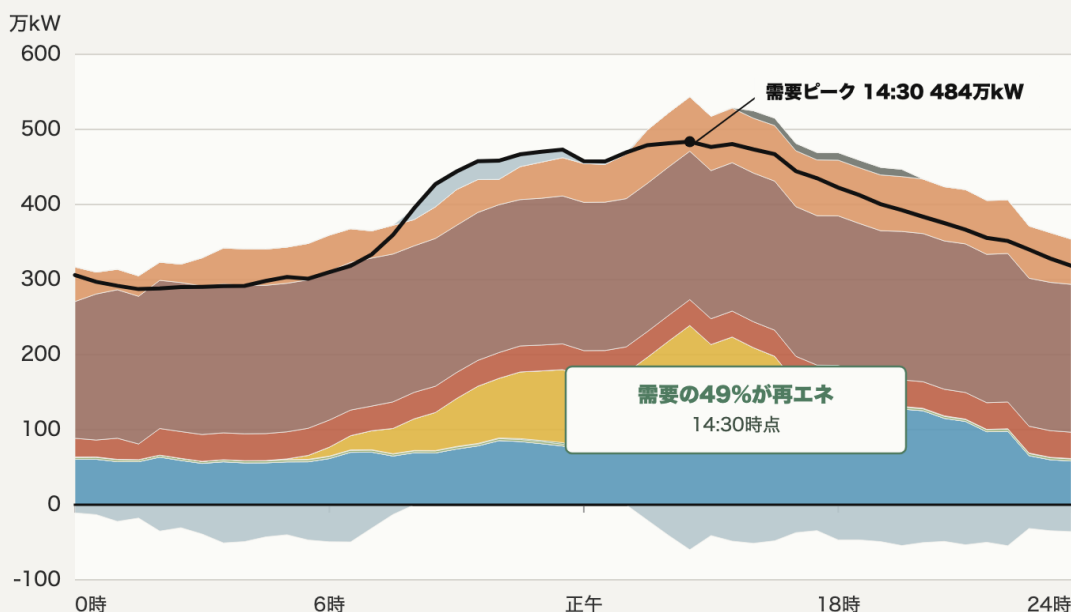
北陸エリア

再エネ

29.9GWh

(発電電力量ベース30.2%)

北陸エリア 2026年7月22日の供給実績（残余需要方式）



発電構成比

総発電電力量: 99.0GWh
(990万kWh)

再エネ	29.9GWh (30.2%)
太陽光	7.6GWh (7.7%)
水力	21.5GWh (21.7%)
風力	0.2GWh (0.2%)
バイオマス	0.6GWh (0.6%)
地熱	0.0GWh (0.0%)
LNG火力	8.2GWh (8.3%)
石炭火力	47.3GWh (47.8%)
石油等火力	13.2GWh (13.3%)
原子力	0.0GWh (0.0%)
揚水・蓄電	0.4GWh (0.4%)
以下は発電構成に含まれない	
揚水・蓄電の充電	
連系線受電・送電・その他	

出典: 北陸電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年7月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

99.0GWh

需要ピーク

14:30、484万kW

連系線・その他

7.4GWhの送電

揚水・蓄電の充電

0.0GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

北陸は、太陽光ピーク98万kW、風力ピーク3万kWで、時間別の再エネ最大需要比は49.4%だった。



2026年7月22日の供給実績

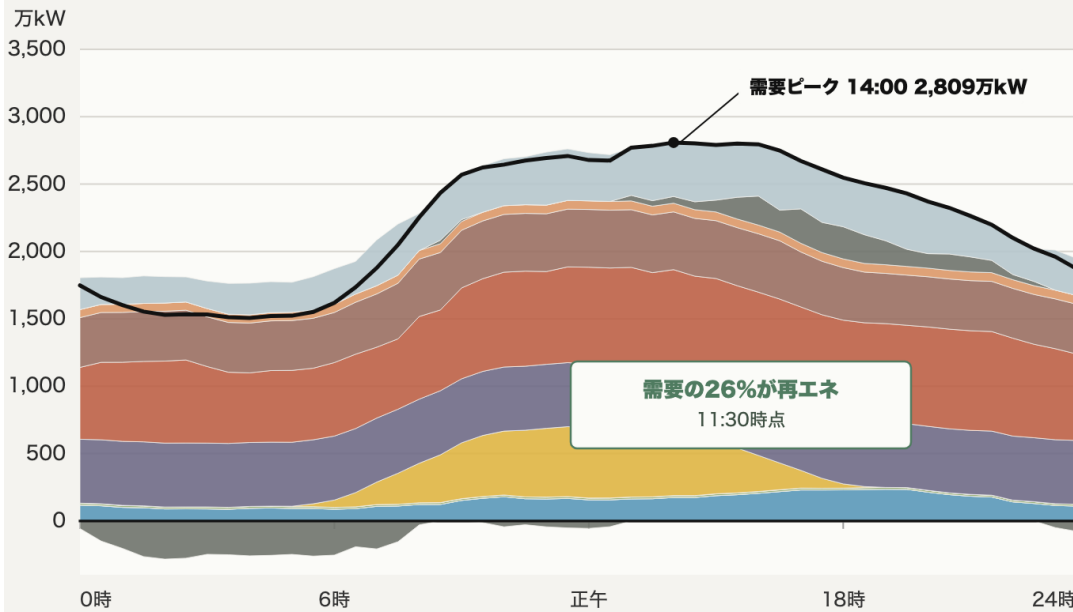
関西エリア

再エネ

82.0GWh

(発電電力量ベース17.2%)

関西エリア 2026年7月22日の供給実績（残余需要方式）



発電構成比

総発電電力量: 477.2GWh

(4,772万kWh)

再エネ	82.0GWh (17.2%)
太陽光	42.4GWh (8.9%)
水力	36.2GWh (7.6%)
風力	0.2GWh (0.0%)
バイオマス	3.1GWh (0.7%)
地熱	0.0GWh (0.0%)
LNG火力	158.1GWh (33.1%)
石炭火力	95.0GWh (19.9%)
石油等火力	15.2GWh (3.2%)
原子力	113.9GWh (23.9%)
揚水・蓄電	13.0GWh (2.7%)
以下は発電構成に含まれない	
揚水・蓄電の充電	
連系線受電・送電・その他	

出典: 関西電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年7月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

477.2GWh

需要ピーク

14:00、2,809万kW

連系線・その他

76.1GWhの受電

揚水・蓄電の充電

20.0GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

関西は、太陽光ピーク522万kW、風力ピーク2万kWで、時間別の再エネ最大需要比は25.8%だった。



2026年7月22日の供給実績

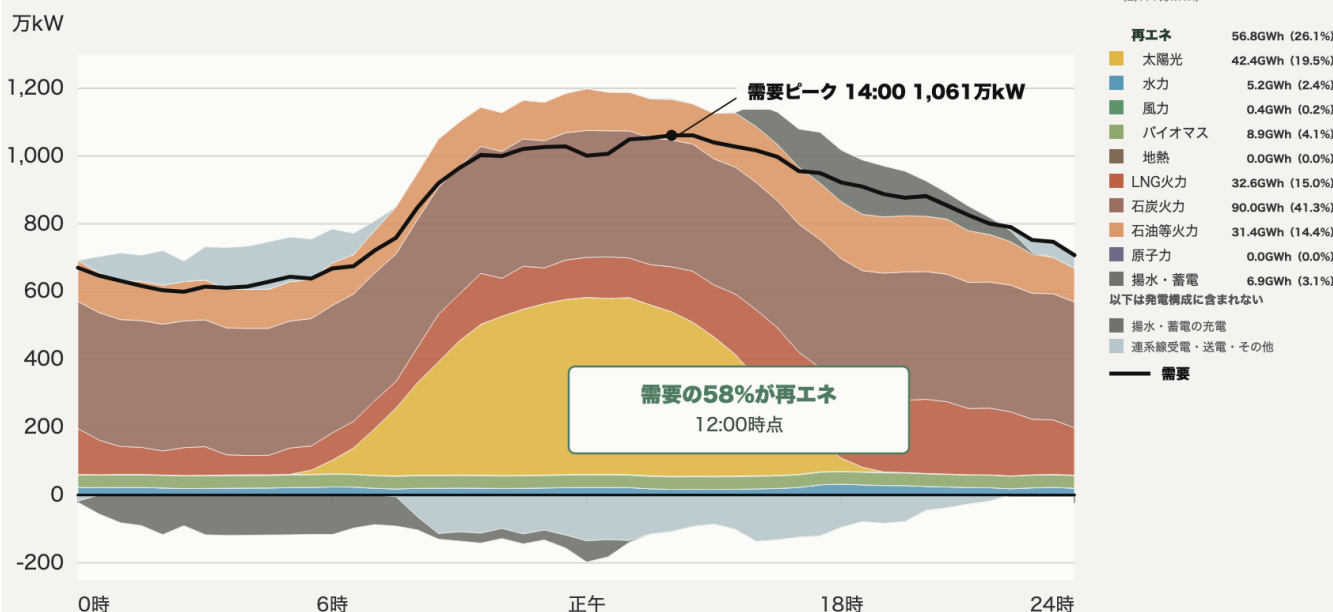
中国エリア

再エネ

56.8GWh

(発電電力量ベース26.1%)

中国エリア 2026年7月22日の供給実績（残余需要方式）



出典: 中国電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ（2026年7月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

217.7GWh

需要ピーク

14:00、1,061万kW

連系線・その他

13.7GWhの送電

揚水・蓄電の充電

9.4GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

中国は、太陽光ピーク522万kW、風力ピーク2万kWで、時間別の再エネ最大需要比は58.2%だった。



2026年7月22日の供給実績

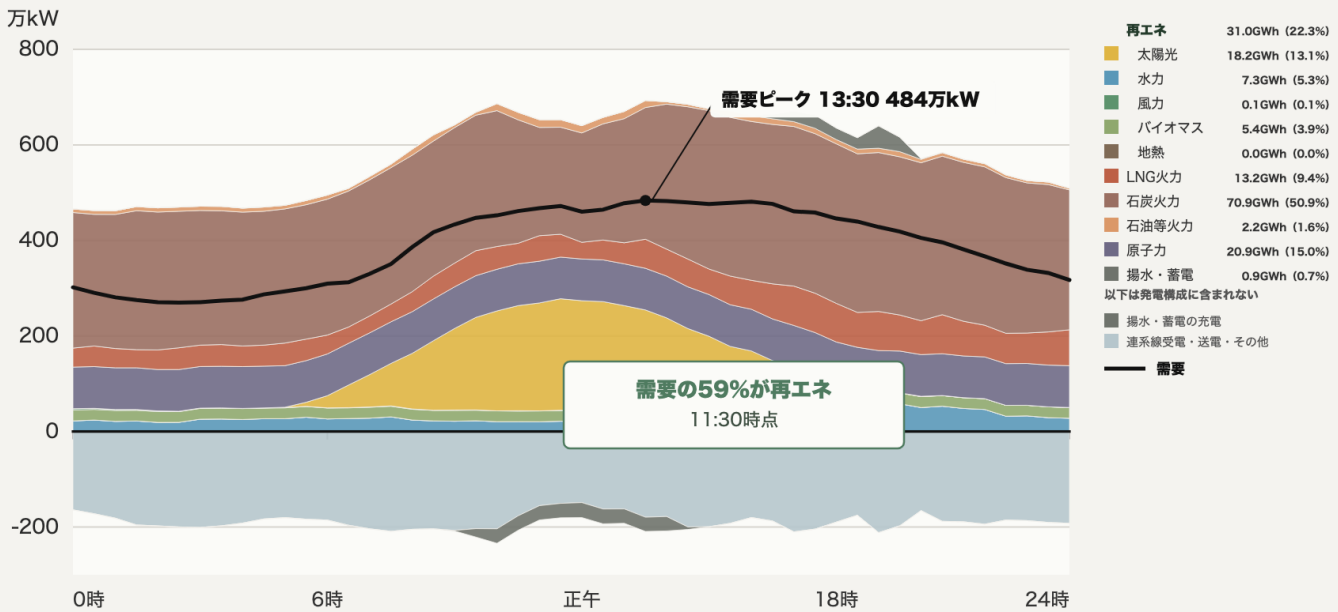
四国エリア

再エネ

31.0GWh

(発電電力量ベース22.3%)

四国エリア 2026年7月22日の供給実績（残余需要方式）



出典: 四国電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年7月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

139.2GWh

需要ピーク

13:30、484万kW

連系線・その他

45.1GWhの送電

揚水・蓄電の充電

1.5GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

四国は、太陽光ピーク233万kW、風力ピーク3万kWで、時間別の再エネ最大需要比は59.5%だった。



2026年7月22日の供給実績

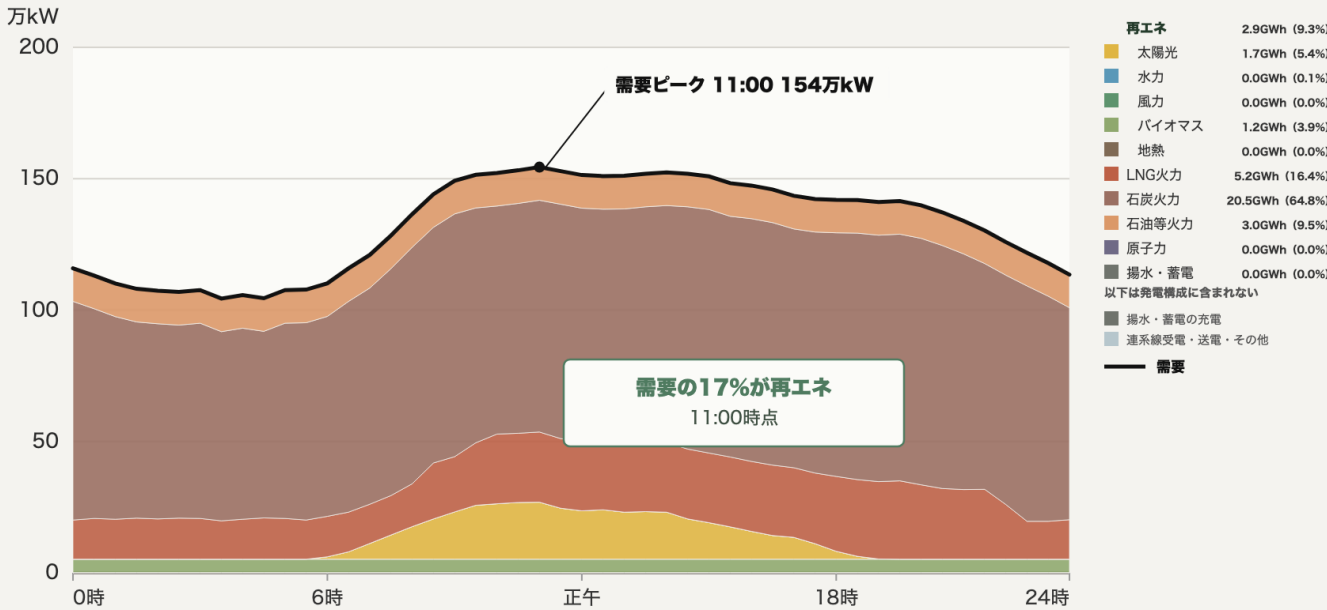
沖縄エリア

再エネ

3.0GWh

(発電電力量ベース9.3%)

沖縄エリア 2026年7月22日の供給実績（残余需要方式）



出典: 沖縄電力公表のエリア需給実績データ（2026年7月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

31.7GWh

需要ピーク

11:00、154万kW

連系線・その他

0.0GWh

揚水・蓄電の充電

0.0GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

沖縄は、太陽光ピーク22万kW、風力ピーク0万kWで、時間別の再エネ最大需要比は17.5%だった。